

「ユネスコスクール地域交流会 in 九州」が開催されました

1月11日(金) オームタガーデンホテルにおいてユネスコスクール地域交流会 in 九州が開催されました。

午前中は、文部科学省からの基調講演、大牟田市の基調提案に続いて吉野小学校の実践事例発表、さかなクンによる有明海の魚についての特別講義があり、手鎌小学校児童による湯いね踊りで会場は熱気に包まれました。午後からはテーマ別分科会とパネルディスカッションが行われ、盛会のうちに終了しました。

文部科学省からは国際交渉分析官の岩本渉氏をお招きし、

- ① ESDは2002年のヨハネスブルグ・サミットにおいて日本政府が提案し、決議案が国連総会で採択されたものであること
- ② 持続発展教育は、教育振興基本計画に述べられており、学習指導要領でめざす「生きる力」に通ずるものである。そのため、ESDは、ユネスコ・スクールであるなしにかかわらず、全ての学校で推進しなければならないこと
- ③ ユネスコスクールガイドラインの趣旨説明の3点について基調講演をして頂きました。

ユネスコスクールガイドラインには、「ユネスコスクールとして大切なこと」と「ESD推進拠点として大切なこと」が述べられています。ユネスコスクール公式ウェブサイトからダウンロードできますので、職員研修等で活用して下さい。



午後の分科会では、以下の4つのテーマに分かれ、それぞれ市内の3つの学校が自校の実践について発表しました。

第1分科会「地域との連携」

中友小学校, 玉川小学校, 延命中学校

第2分科会「ESDを通して育みたい力」

大牟田小学校, 笹原小学校, 白光中学校

第3分科会「学校間交流」

大正小学校, 明治小学校, 大牟田特別支援学校

第4分科会「校内体制」

吉野小学校, 駛馬北小学校, 上官小学校



各分科会とも、市外の実践校の発表も行われ、活発な意見が交わされるとともに、大牟田市の各校の取り組みに高い評価を受けました。

「ユネスコスクール子どもサミット」が開催されました

ユネスコスクール地域交流会 in 九州が開催された翌日、1月12日(土)に、文化会館で「ユネスコスクール子どもサミット」が開催されました。明治小学校の英語の歌“Seven Steps”で幕が上がると、以下の4つのテーマごとに各校が発表を行いました。

【環境の町大牟田】

- ① 世界とつなぐ環境探検隊 (明治小学校)
- ② 大牟田川にホタルがいたよ (上官小学校)

【福祉の町大牟田】

- ③ 大牟田の未来を考える (右京中学校)

【夢を未来へ、「夢多きまち・大夢多」】

- ④ 心みだそう! 夢への第1歩 (銀水小学校)
- ⑤ ちょっぴり社会人体験記~職場体験~ (田隈中学校)

【再発見「大牟田の素晴らしさ」】

- ⑥ 町の宝物を未来に伝えよう (大正小学校)
- ⑦ 「知ろう」「守ろう」「つながろう」 (駛馬北小学校)

わたしたちのふるさと駛馬

- ⑧ 大牟田の世界遺産登録に向けた取り組みを考える (米生中学校)

エンディングでは、上官小学校の児童のリードでオリジナルソング「大牟田弁もおもしろか」を会場が一体となって歌いました。本年度も充実した「ユネスコスクール子どもサミット」となりました。発表校や担当の先生方のご協力に感謝いたします。



※ 次回からの「ユネスコスクール便り」では、このサミットでの各校の発表のエッセンスを掲載していきます。